

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

静岡市長 難波 喬司 殿

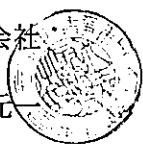
提出者

住所 静岡県静岡市駿河区泉町3-15

氏名 静和工業株式会社

代表取締役 望月 元

電話番号 054(285)7141(代表)



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

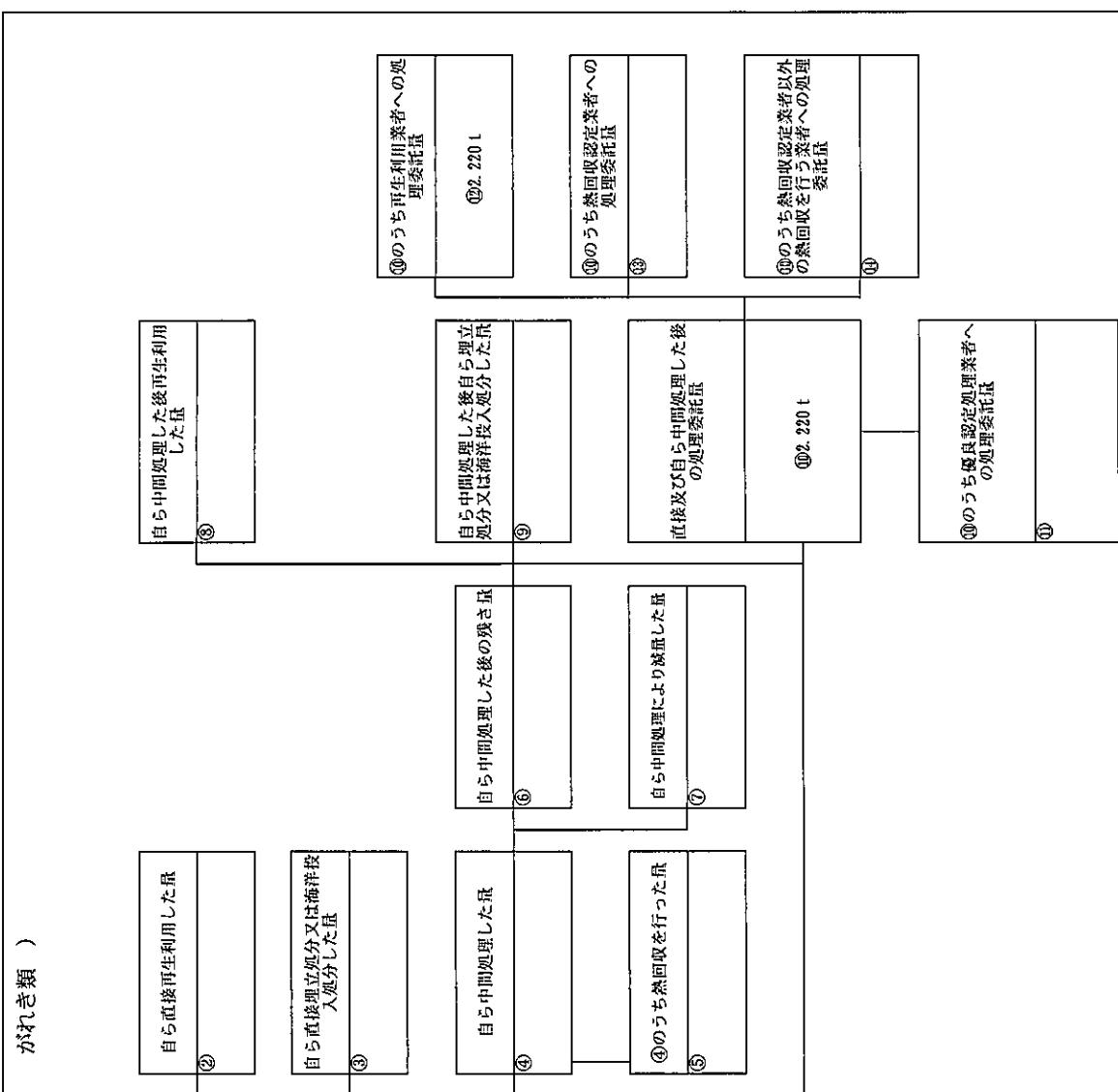
事業場の名称	静和工業株式会社(静岡営業所、静清工事事務所)
事業場の所在地	駿河区登呂6-2-24、駿河区泉町3番15号
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,000t	全処理委託量	3,000t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—t	優良認定処理業者への処理委託量	—t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—t	再生利用業者への処理委託量	6,000t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—t	認定熱回収業者への処理委託量	—t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	環境局 6.6.28付
※事務処理欄			産業廃棄物対策課

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : がれき類)
不要物等発生量	有機物質	
①排出量	②2.220 t	
③自ら直接再生利用した量	④自ら中間処理した量	⑤自ら中間処理により減量した量
⑤自ら自然回収を行った量	⑥自ら中間処理により減量した量	⑦自ら中間処理により減量した量
⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理後に海上投棄を行った量	⑨自ら中間処理後に海上投棄を行った量
⑨自ら中間処理後に海上投棄を行った量	⑩全処理委託量	⑪処理委託量
⑪処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬然回収認定業者への処理委託量
⑬然回収認定業者への処理委託量	⑭然回収認定業者以外の然回収を行つ業者への処理委託量	



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリート破片)

有機物量

不要物等発生量

②
自ら直接再生利用した量③
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量①
排出量
842.680 t⑧
自ら中間処理した後再生利用した量

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後自ら立 処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者への 処理委託量
①排出量	842.680 t	④	⑤	⑨	⑪
②+③自ら再生利用を行った量					⑫
⑤自ら熱回収を行った量					⑬
⑦自ら中間処理により減量した量					⑭
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処 分を行った量					⑮
⑩全処理委託量	842.680 t				
⑪優良認定業者への処理委託量					
⑫再生利用業者への処理委託量	842.680 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量					
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量					

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : アスファルト・コンクリート破片)	
項目	有価物量	項目	有価物量
①排出量	①. 233. 400 t	④自ら中間処理した量	④. 1. 233. 400 t
②+③自ら再生利用を行った量		⑤自ら熱回収を行った量	⑤. 1. 233. 400 t
⑤自ら中間処理により減量した量		⑥自ら中間処理により減量した量	⑥. 1. 233. 400 t
⑦自ら中間処理により減量した量		⑦自ら中間処理により減量した量	⑦. 1. 233. 400 t
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑧. 1. 233. 400 t	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海上投投入した量	⑨. 1. 233. 400 t
⑩全処理委託量	⑩. 1. 233. 400 t	⑪自ら中間処理した後直接埋立処分又は海上投投入した量	⑪. 1. 233. 400 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		⑫再生利用業者への処理委託量	⑫. 1. 233. 400 t
⑫熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	⑬. 1. 233. 400 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量		⑮自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑮. 1. 233. 400 t
⑯自ら熱回収認定業者への処理委託量		⑰自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑰. 1. 233. 400 t
⑱自ら熱回収認定業者への処理委託量		⑲自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑲. 1. 233. 400 t
⑲自ら熱回収認定業者への処理委託量		⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑳. 1. 233. 400 t
⑳自ら熱回収認定業者への処理委託量		㉑自ら熱回収認定業者への処理委託量	㉑. 1. 233. 400 t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら直接再生利用を行った量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後自ら埋立処理認定業者への処理委託量
①排出量	3.000 t	④	⑥	②	⑩3.000 t	⑪
②+③自ら再生利用を行った量						⑫3.000 t
⑤自ら熱回収を行った量						⑬
⑦自ら中間処理により減量した量						
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量						
⑩全処理委託量	3.000 t					
⑪優良認定処理業者への処理委託量						
⑫再生利用業者への処理委託量	3.000 t					
⑬熱回収認定業者への処理委託量						
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
⑮有償物量	13,000 t	④	⑥	②	⑩3.000 t	⑪
⑯不要物等発生量						

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 鉄くず)	
不要物等発生量	有資物量	自ら直接再生利用した量	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧
		自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨	
	排出量	自ら中間処理した量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑩
①排出量	②	④	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑪
		⑥	⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑫
		⑦	⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬
②+⑨自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑧のうち中間処理により減量した量	⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭
⑥	⑥	⑦	
⑦自ら中間処理により減量した量	⑧	⑨	
⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩全処理委託量	⑪	
⑩	⑪	⑫	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑬	
	0.565 t	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑭	
⑫		⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑮	
⑬		⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑯	
⑭			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量 ①23,760 t

項目 ①排出量 ②+③自ら再生利用を行った量 ⑤自ら熱回収を行った量 ⑦自ら中間処理により減量した量 ⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 ⑩全処理委託量 ⑪優良認定業者への処理委託量 ⑫再生利用業者への処理委託量 ⑬熱回収認定業者への処理委託量 ⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	実質量 23,760 t 自ら中間処理により減量した量 自ら中間処理により減量した量 自ら中間処理により減量した量 自ら中間処理により減量した量 自ら中間処理により減量した量 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t 23,760 t
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

自ら直接再生利用した量 ②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③

自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑪

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑫

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 木くず)	
項目	内容	項目	内容
①排出量	537.240 t	④自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量 537.240 t
②+③自ら再生利用を行った量		⑤自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量 537.240 t
⑤自ら熱回収を行った量		⑥自ら中間処理した後自ら埋立 処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後自ら埋立 処分又は海洋投入処分した量 537.240 t
⑦自ら中間処理により減量した量		⑦自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら中間処理した後 の処理委託量 537.240 t
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処 分を行った量		⑨自ら中間処理により減量した量	⑩うち熱回収認定業者への処 理委託量 537.240 t
⑩処理委託量	537.240 t	⑩うち再生利用業者への処 理委託量 537.240 t	⑪うち熱回収認定業者への処 理委託量 537.240 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		⑫再生利用業者への処理委託量 537.240 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量			

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : 廃プラスチック類)

不不要物等発生量
有償物量

自ら中間処理した後再生利用した量
②

排出量
①46,760 t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

項目
自ら中間処理した量
④
自ら中間処理した後の残さ量
⑤

実績値
46,760 t
②+③自ら再生利用を行った量
⑥自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑫46,760 t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑬
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑭の熱回収を行う業者への処理委託量
⑮
⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑯

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑭46,760 t
自ら中間処理した後自ら中間処理した量
⑮
自ら中間処理により減量した量
⑯

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 紙くず)	
項目	発生量	処理方法	処理量
不要物等発生量		自ら直接再生利用した量 ②	
排出量	①0.300 t	自ら直接埋立処分又は海洋投 入処分した量 ③	
項目	実績値	自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理した後自ら埋立 処分又は海洋投人処分した量 ⑨
①排出量	0.300 t	⑥	⑩0.300 t
②+③自ら再生利用を行った量		⑤	⑪のうち熱回収認定業者への 処理委託量 ⑬
⑤自ら熱回収を行った量		⑦	⑫のうち熱回収認定業者以外 の熱回収を行う業者への処理 委託量 ⑭
⑥自ら中間処理により減量した量			⑮
⑦自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量			
⑧+⑨自ら再生利用を行った量			⑯のうち優良認定業者への 処理委託量 ⑰
⑩全処理委託量	0.300 t		
⑪優良認定業者への処理委託量			
⑫再生利用業者への処理委託量	0.300 t		
⑬熱回収認定業者への処理委託量			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量			

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 安定型建設混合廃棄物)	
不要物等発生量	有償物量	自ら直接再生利用した量 ②	自ら中間処理した後再生利用した量 ③
排出量	自ら直接処分又は海洋投入処分した量 ④	自ら中間処理立処分又は海洋投入処分した量 ⑤	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑥
項目	実績値	自ら中間処理した量 ⑦	自ら中間処理した後自ら埋立処分した量 ⑧
①排出量	11,360 t	⑨	⑩ 11,360 t
②+③自ら再生利用を行った量		⑪	⑫ 11,360 t
⑤自ら熱回収を行った量		⑬	⑭ 11,360 t
⑦自ら中間処理により減量した量		⑮	⑯ 11,360 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		⑰	⑱ 11,360 t
⑩全処理委託量	11,360 t	⑲	⑳ 11,360 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		㉑	㉒ 11,360 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11,360 t	㉓	㉔ 11,360 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		㉕	㉖ 11,360 t
㉗ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		㉘	㉙ 11,360 t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。